

# 景況調査

「山形・秋田県内企業の景気動向調査」(概要)

## 1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

## 2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

## 3 調査期間

平成24年2月1日(水)~15日(水)

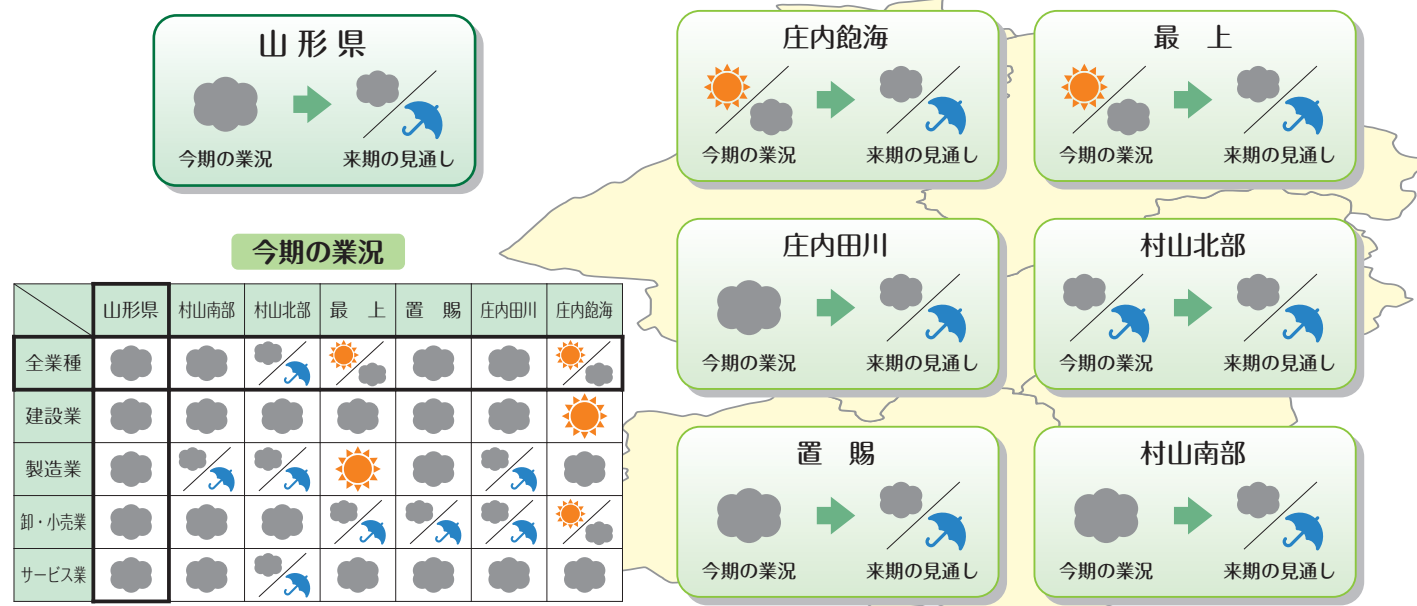
## 4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形756社、秋田420社  
有効回答数 山形505社、秋田302社  
回答率 山形66.8%、秋田71.9%

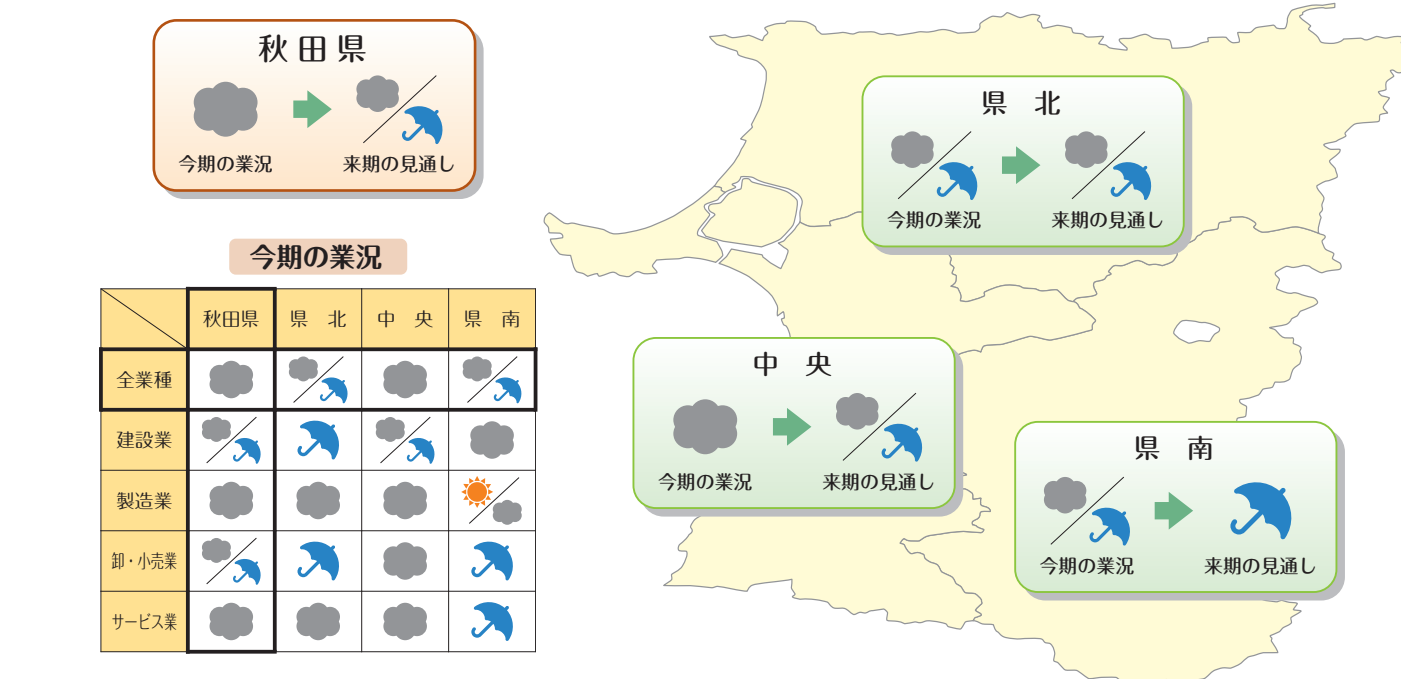
特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ -10	-10 > DI ≥ -30	-30 > DI

## 景気天気図

第30回「山形県内企業の景気動向調査」



第3回「秋田県内の企業景気動向調査」

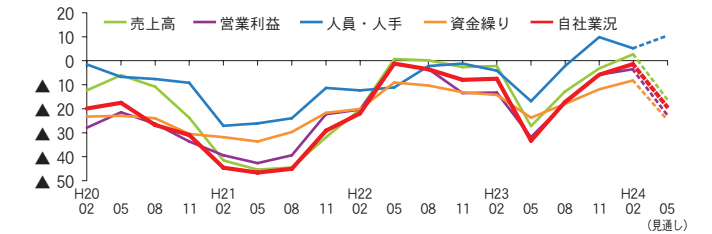


## ▶ 自社業況の動向

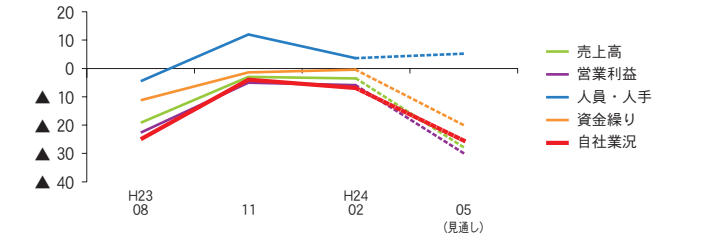
**山形県**の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」でみて、▲1.2(4.6ポイント上昇)と3期連続で回復が見られ、震災前(昨年2月調査▲7.5)の水準を上回っている。先行き見通しは、▲18.9(17.7ポイント下落)と、一転して大幅に悪化する見通しとなっている。

**秋田県**の業況は、▲7.0(3.0ポイント下落)と小幅ながら悪化となった。先行き見通しは、▲25.5(18.5ポイント下落)と大幅な悪化が見込まれている。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

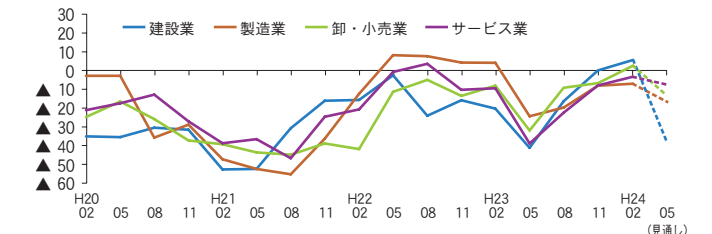


## ▶ 業種別の動向

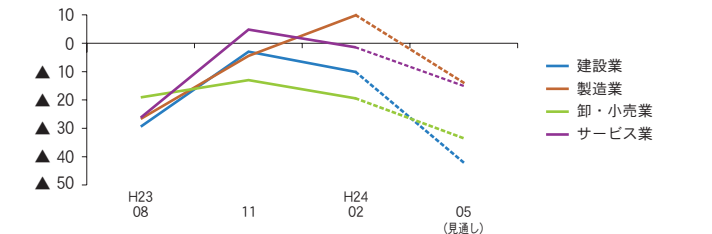
**山形県**の業況を業種別に見ると、すべての業種において回復が見られた。とくに卸・小売業の回復度合いが高く、個人消費の持ち直しの動きやエコカー補助金の再開などが要因になっていると考えられる。先行き見通しは、全業種で下落の見通しとなっており、特に建設業の悪化幅が大きい。

**秋田県**の業況を業種別に見ると、木材・木製品や酒造業に改善が見られた製造業が6.9(11.4上昇)と唯一プラスに転じた。先行き見通しは、製造業が▲13.7(20.6ポイント下落)と再び「悪い」超に転じ、他の業種でも大幅な悪化が見込まれている。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

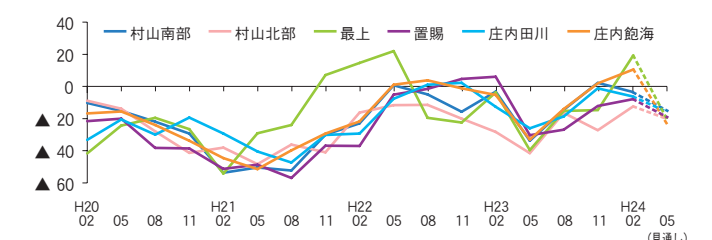


## ▶ 地域別の動向

**山形県**の業況を地域別に見ると、村山南部で▲3.7(6.0ポイント下落)、村山北部で▲12.6(14.6ポイント上昇)、最上で19.2(34.0ポイント上昇)、置賜で▲7.9(4.3ポイント上昇)、庄内田川で▲6.3(5.2ポイント下落)、庄内飽海で10.5(8.5ポイント上昇)となり、村山南部、庄内田川を除く地域が回復している結果となった。先行き見通しは、全地域で悪化の見込みとなっている。

**秋田県**の業況を地域別に見ると、中央で▲1.1(2.3ポイント上昇)、県南で▲13.0(1.7ポイント下落)と前期比はほぼ横ばいとなったが、県北では▲18.4(25.1ポイント下落)と大幅なマイナスとなった。先行き見通しは、中央、県南でマイナス幅が拡大するなど、総じて厳しい見込みとなっている。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

